

ちっちゃいものくらぶ

働く動物～警察犬など～

警察犬というと、シェパードとかの大型犬を思い浮かべる人も多いと思う。だけどね、ちっちゃいワンコもその小ささを強みにして、大型犬が入れない狭い場所の捜索や、小さな証拠や遺留品を探すお仕事に向いているんだって。

小型犬で警察犬審査に合格した犬種は日本では、ミニチュア・シュナイザー、チワワ、柴犬、トイプードルなどがあるよ。この中でトイプードルの「アンズ」を紹介しよう。

アンズは生まれて間もなく飼育放棄された。殺処分されそうなところを動物愛護推進員さんに引き取られた。アンズは自宅で警察犬の訓練をするシェパードと仲良くなり、一緒に訓練をするようになった。飼い主さん曰く「真っ先に訓練したがるほど仕事好きなので、警察犬に向いていると思う」物怖じしない性格と小型犬の特徴を活かし活躍してくれると期待されている。



警察犬になるには2通りの方法があるんだ。一つは警察が直接飼育・訓練する「直轄警察犬」で、もう一つは一般の人が飼育・訓練し、嘱託警察犬審査会で合格した「嘱託警察犬」。日本では多くはこの「嘱託警察犬」が捜査依頼が来ると頑張ってくれているんだって。

〈本のご紹介〉

『トイプー警察犬メグレ』七尾与史 飼い主は嗅覚が鋭いと言われた元名刑事。飼い主同様、犯罪の臭いを見逃さない。かわいいので、捜査中も警戒されないのが強み！



『家族の愛犬から地域へ～もか吉、ボランティア犬になる』江川紹子 野良犬のもか吉はある日、母犬が帰って来ずに衰弱しているところを保護された。人嫌いだったが、介抱を続けるうちに老人ホームで動物セラピーを施すボランティアをできるまでにおっとりとした性格を取り戻すことができた。著者は県立船橋高校出身の、あのオウムの取材で有名な江川紹子さんです。

盲導犬の続き

昔、ある人権教育の講演会に行った時、盲導犬についての講座があった。ユーザーさんがお話ししている間、ワンコは本当におりこうさんに座っていたよ。お昼休みになって、ワンコのところに行くと、ユーザーさんが「ハーネスはずしてみましようか？」と、お仕事モードから解放してくれた。その途端、私に飛びついて来てくれたんだ。「うわー、なんてメリハリはっきりしてるんだらう」と感激。ハーネスをつけてない時は本当に普通のワンコだった。その後、前任校でやはり盲導犬とユーザーさんをお招きした講演会を行った。当時は習志野市で1頭だけだった「レシーダちゃん」が来てくれた。ユーザーさんはレシーダちゃんと暮らすようになって、ものすごく自分の性格が明るく積極的になったと喜んでおられた。どんどん外出もするようになったんだって。